

土、水、空気。それは植物や動物、地球上のすべての生き物にとって欠かせないもの。言うまでもなく、それは人間だけのものではありません。

ところが私たち人間は、そんな単純な事実を忘れ、長い歴史の中で自分たちの幸福や利便性だけを追求し、地球上の限りある大切な資源を思うままに利用するということを繰り返してきました。

土壌汚染、水質汚染、大気汚染、オゾン層破壊、地球温暖化。

資源を無駄に使った結果、地球は今、いくつもの深刻な環境問題を抱えることになりました。

私たち環境大善は、そんな地球環境を少しでも改善したいという思いから、地球の健康を見つめ始めました。

このテーマの中心となるのが、地域の酪農家から牛のし尿を買い取り、

独自の発酵・培養技術で製造する「善玉活性水」です。

水に混ぜて土にまくだけで、土壌改良効果と植物の生長促進効果を得られたり、

水質改善の特性を活かした適切な家畜の糞尿処理を行うことで水資源を守られたり、

二酸化炭素を吸収する特性のある植物や藻類の増殖を促し、大気汚染問題に役立てられたり。

環境破壊の防止や環境保全のさまざまな可能性を広げていく。これがこそが「善玉活性水」の役割です。

また、この「善玉活性水」を原料に消臭液「さえずる」「土壌改良材」液体たい肥「土いきかえる」「

植物保護液」「無農薬への道」といった環境に価値ある製品に変化させて地球へと戻していく。

この「アップサイクル型循環システム」を、世界中の国々で実現していくこともまた、私たちの夢の一つです。

さらに環境大善は、2020年に「土、水、空気研究所」を設立しました。

家畜し尿の微生物分解技術の向上、「善玉活性水」の各分野への応用、新規プラントの展開、

環境大善と民間企業、大学などの各研究機関が思い描く未来の地球への希望が詰まっています。

私たち環境大善にできることは、とても小さいかもしれませんが、

ただ、それでも「善玉活性水」の製造技術を磨き、地球環境の改善に役立てていきたい。

安心、安全、快適。地球の健康につながる一つひとつの「善」を積み重ねながら、

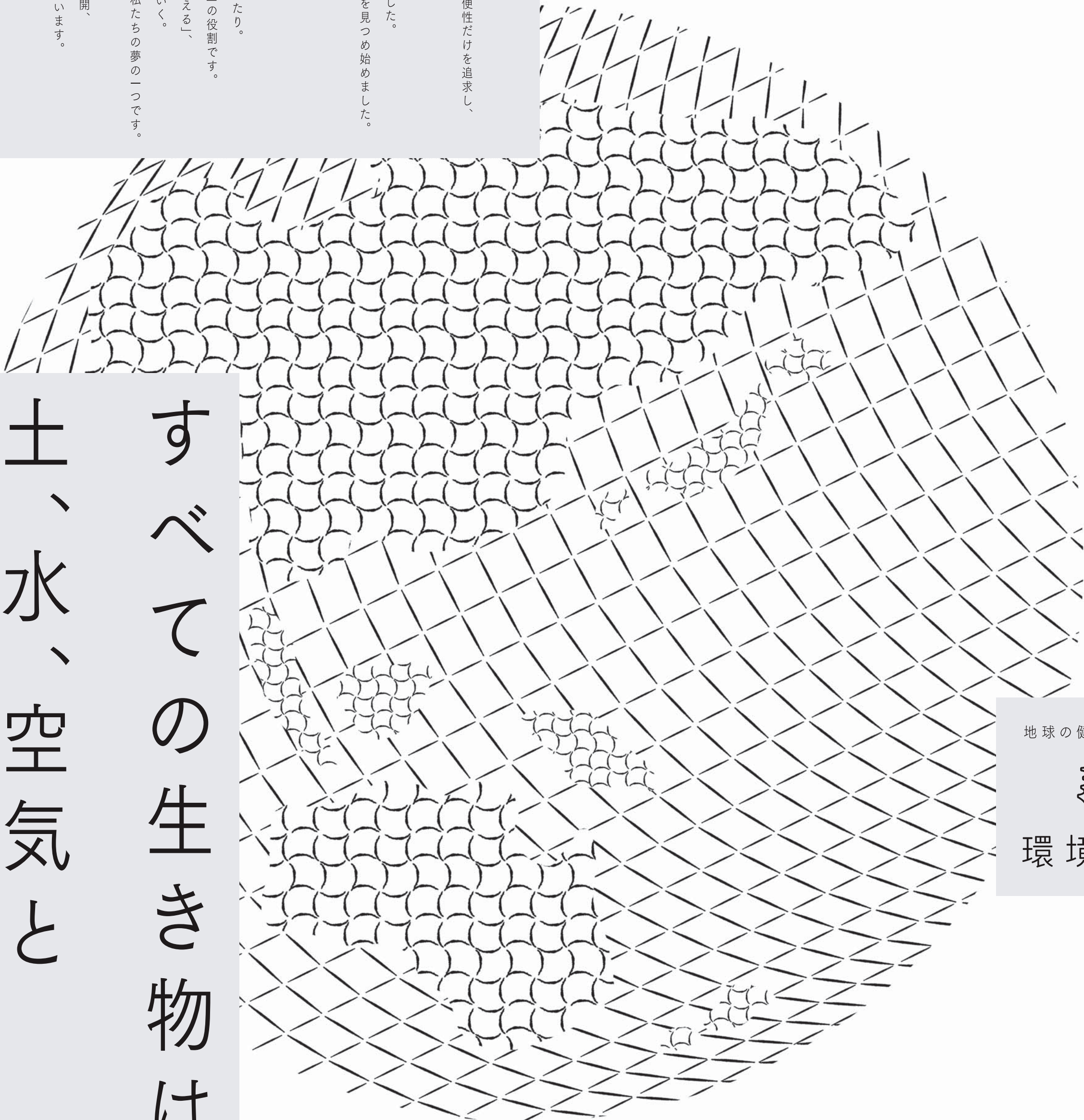
環境問題の解決へ少しでも近づいていきたい。そう、考えています。

環境大善は、この地球をもっと暮らしやすく、もっときれいな場所へと変えていくことができると信じています。

人類や生き物にやさしい環境を実現するために。

土、水、空気への負荷を少しでも抑えられるように。

環境大善は、これからも地球の健康を見つめながらさまざまな研究開発に挑戦していきます。



地球の健康を見つめる



環境大善

すべての生き物は、
土、水、空気と
生きていく